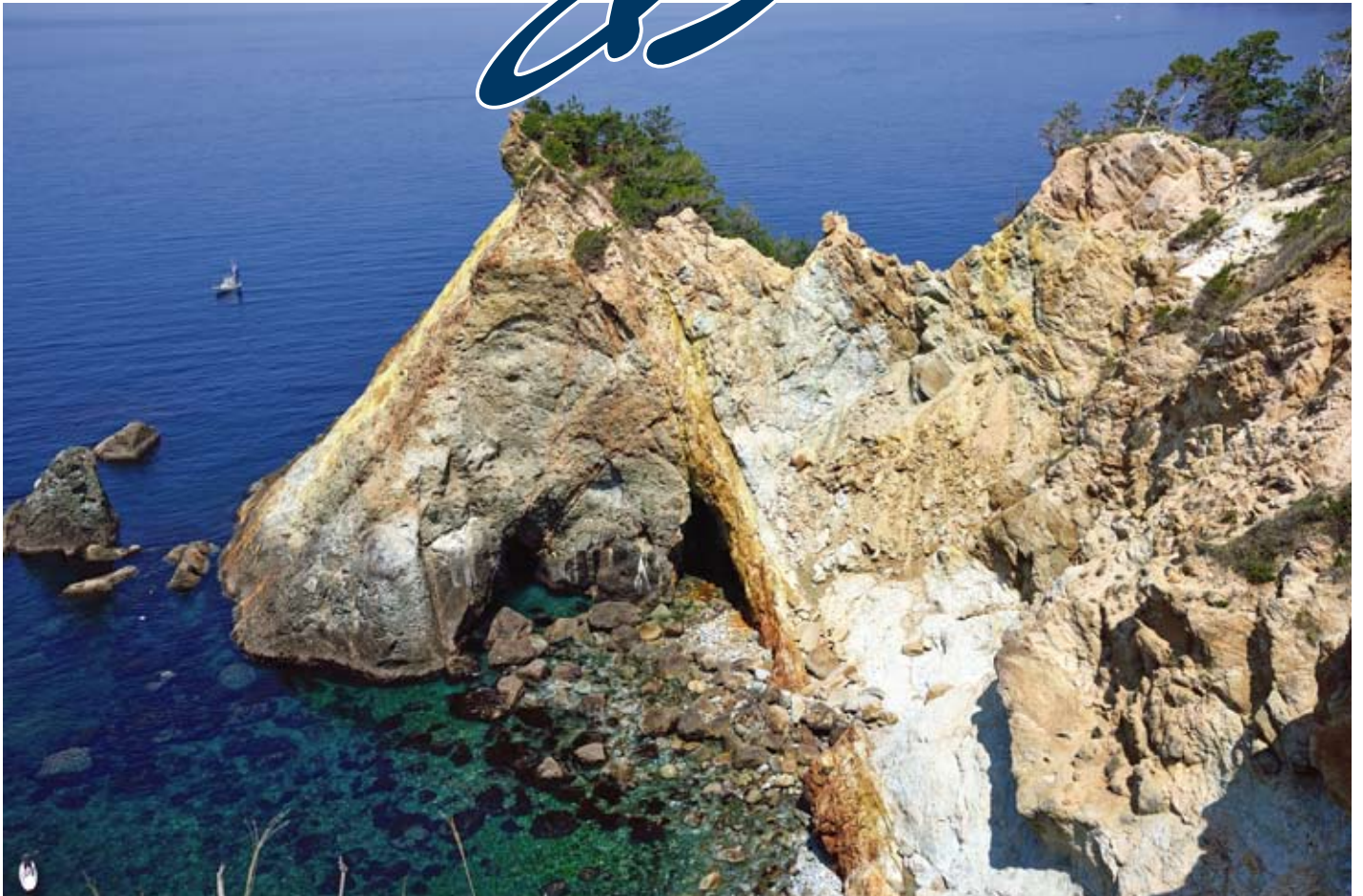


## スポット

- ・平成27年度事業計画
- ・平成26年度事業報告
- ・ワーカビリティアジア会議参加報告
- ・プランナー会議報告
- ・新人紹介

## あかつき



西伊豆 黄金崎 馬口ック

第69号 2015年9月1日発行

発行 / 編集 社会福祉法人 あかつきコロニー

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平 1-64-1

☎ 042-560-7840

<http://www.akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

# 平成27年度事業計画

障害者自立支援法から障害者

総合支援法に変わってから2年が経過し報酬や加算等の見直しが入った。障害福祉サービスの報酬改定は全体的には0%改定だが、中身は基本報酬部分が変わり実績加算が増えている状況となった。つまり就職者数や工賃向上等の実績を伸ばさないと報酬が減ることとなり、より支援の質が問われてくることとなる。

また国では社会福祉法人改革を進めているところで、法人の公益性・非営利性を徹底し、地域社会への貢献を広げていく方向で議論が進んでいる。規制緩和で民間企業やNPO法人でも障害福祉サービスを運営出来るようになっているが、税制面で社会福祉法人が優遇されている不平等感や一部の社会福祉法人では多額の内部留保を持っていることが問題視されており、法人の内部統制(ガバナンス)や財務規律等が改革の骨子となっ

ている。

一方生活困窮者自立支援法が4月から開始される。主に生活保護受給者に対する相談支援や就職支援に力を入れていくということが柱だが、生活保護受給者には障害者も多くいると言われており、障害者の就労支援を行っている当法人でも関わっていく可能性はある。

## ●福祉事業活動

あかつきココロニは長年障害者の就労支援に力を注ぎ、就労移行支援・就労継続支援A型・B型を中心にそれぞれ3障害に対応出来る様多角的に取り組み、また企業的な事業スタイルを導入し障害者雇用や高工賃の支給を果たしてきたが、印刷事業をはじめ各事業の低迷、障害福祉サービスではより重度障害者支援にニーズが移り変わり、現状の施設体系では無理が出てきている。特に障害者と雇用契約を結ぶ就労継続支援A型あかつき作業所は上記の理由から継続が難しくなっており運営形態の大きな変更も視野に入れ考え

ていく。

一方新たな事業として障害児を対象とした放課後等デイサービス事業の立上げを検討していく。放課後等デイサービスは18歳未満の特別支援学校等に通う児童の放課後支援を行う事業であり、知的障害児・発達障害児等その需要が増えている分野である。

就労移行支援セルフあかつきと就労継続支援B型スペース・まどかは共に利用者数の減少や利用率の低さから不安定な施設運営が続いている。前年度からそれぞれ利用者を増やす取り組みを行っておりその成果も上がってきてはいるが、今年度はそれぞれ別の単独施設ではあるものお互いの強みを生かし協力して利用者数・利用率の向上を目指す。

## ●就労支援事業活動

就労支援事業は今年度も非常に厳しい状況が続くことが予想される。印刷で使用する紙やウエブの原料が高騰しており、顧

客への転嫁も難しいところもあり苦労している。大手企業の業績は上がっているという点だが、当法人の事業に反映するまでに至っていない。

印刷事業は業績の下落傾向が毎年続き収支バランスが取れない状況が続いている。上記に記載した就労継続支援A型あかつき作業所の中心的な事業であるが、施設の動向によっては大きな縮小をはかり就労継続支援B型(非雇用型)中心の事業とすることも考えていく。

同様に同じA型事業である給食事業も形態を変えていく必要がある。

オイルエレメント事業は今年度からISOを取得する。自動車関係部品のため品質管理は非常に厳しくISO取得が今後の事業継続に必要となるためである。下請けのため受注先の動向に左右されるが、納期や品質管理に注意を払い不良を出さないように取り組んでいく。ウエブ事業も収益が伸び悩んでいるところだが統括営業部と協力して新規開拓と作業の効率化をはかることで収益を出せるように努力していく。

まどか作業部門においては精神障害者を中心に封入作業やメール便の配達等多岐にわたって事業を行っている。革細作業も収益をあげるまでには至っておらず、今年度は軌道に乗せることに重点を置く。

その他武蔵村山市との委託契約による紙おむつ給付事業や瑞穂町福祉作業所における箱折りを中心とした軽作業等行っているが、少しでも高い工賃を支払っていくことを目標に取り組んでいく。

## ●地域福祉

特定相談支援あかつきココロニ相談支援センターは障害者のサービス等利用計画の作成を主に事業を行っている。平成25年4月に開設し兼務職員3名で対応していたが、今年1月に一名退職した。相談専門員の補充が急務だが、年々サービス等利用計画数も増加しており今後のことを考えると専従職員の配置が必要となる。現状の報酬単価では難しいもののせめて一名の配置を目指して取り組む。

今年度も引き続き武蔵村山市障害者就労支援センターとら

瑞穂町障害者就労支援センターをそれぞれの自治体と受託契約を結び実施していく。

障害者の就職支援が進む中、二つの障害者就労支援センターの役割は非常に大きく、それぞれの地域において大きな成果を出している。障害者の就職支援と同時に、仕事を継続していくための定着支援、生活支援にも力を入れて、障害者が安定して働いていけるよう努力していく。

武蔵村山市との協力のもと、福祉計画に基づき地域の障害者福祉の向上に尽力していく。障害支援区分審査会への委員派遣、自立支援協議会委員の派遣を継続するとともに、自立支援協議会傘下の各事業者部会と就労プロジェクトへも積極的に関わっていく。また市内の福祉作業所や関係団体と連携をはかりネットワーク化を推進し地域の一層の就労支援の向上を図っていく。また瑞穂町においても自立支援協議会、地域保健福祉審議会、施設連絡会等に職員を派遣し、地域の障害福祉サービスの向上に尽力していく。

2015 (平成 27) 年度あかつきコロニー予算書

自 2015 年 (平成 27 年) 4 月 1 日 至 2016 年 (平成 28 年) 3 月 31 日

法人全体		(単位：千円)			
勘定科目		本年度予算	前年度予算	差異	
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	145,840	151,450	5,610	
	障害福祉サービス等事業収入	215,334	198,075	17,259	
	生活保護事業収入	340	390	50	
	その他事業収入	32,375	32,315	18,590	
	借入金利息補助金収入	94	139	45	
	経常経費寄附金収入	330	320	10	
	受取利息配当金収入	7	8		
	その他の収入	775	796	21	
	事業活動収入計 (1)	395,095	383,493	11,602	
支出	人件費支出	195,072	187,937	7,135	
	事業費支出	20,998	18,895	2,103	
	事務費支出	26,239	27,414	1,175	
	就労支援事業支出	145,840	151,450	5,610	
	支払利息支出	104	157	53	
	事業活動支出計 (2)	388,253	385,853	2,400	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	6,842	2,360	9,202		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	0	0	0	
	設備資金借入金収入	0	0	0	
	その他の施設整備等による収入	0	0	0	
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	4,242	4,122	120
固定資産取得支出		0	1,578	1,578	
施設整備等支出計 (5)		4,242	5,700	1,458	
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	4,242	5,700	1,458		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	0	3,007	3,007	
	拠点区分間繰入金収入	6,800	4,830	1,970	
	その他の活動による収入計 (7)	6,800	7,837	1,037	
	支出	積立資産支出	0	945	945
		拠点区分間繰入金支出	6,800	4,830	1,970
その他の活動による支出計 (8)		6,800	5,775	1,025	
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	0	2,062	2,062		
予備費支出 (10)	2,600	0	2,600		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	0	5,998	5,998		
前期末支払資金残高 (12)	92,940	98,938	5,998		
当期末支払資金残高 (11) + (12)	92,940	92,940	0		

# 平成26年度事業報告

## ●概要

平成26年度は障害者総合支援法が施行されて2年目にあたり、昨年4月にはグループホームとケアホームの一元化や重度訪問看護の対象障害の範囲拡大等の変更が行われた。またそれまでの障害程度区分も障害支援区分へと変わり、それまで課題となっていた知的障害者、精神障害者の一次判定の誤差もある程度改善された。

障害者法定雇用率は昨年11月の集計結果は1.82%となり、法定雇用率には達成していないものの上昇の動きとなっている。障害者権利条約も昨年寄託され、国では環境整備が進められているところである。障害者の権利の向上に関わる制度であり、地域における障害者の社会参加も進んでいくことになり、障害者福祉サービスを運営するあかつきココロ二一においても、一般就労の支援を進めていくこと、

地域社会で暮らしていくための支援、企業に就職が難しい方の働く場の提供等、さらに推し進めていかなければならない課題といえる。

## ●福祉事業活動

平成26年度も厳しい法人運営となったが、特に就労継続支援A型あかつき作業所において当期活動増減差額が一〇〇八万円(資金収支差額 七五九万円)で大きなマイナスとなった。印刷事業と給食事業を就労支援事業として行っているが、六三三万円となり、利用者数も少ないことから施設経営面もマイナスとなった結果である。雇用契約の利用者のため厳しい就労支援事業の状況では利用者を増やすこともできず負の連鎖に陥っている。主力の印刷事業の回復は難しく施設の閉鎖を検討している。

法人全体では当期活動増減差

額が二一六六万円、当期資金収支差額では八四三万円となった。この差額は減価償却のウエイトが大きいことと、今回限り新会計移行に伴う建物の減価償却再計算で国庫補助金等特別積立金取崩額に調整が入り加算されたことが要因である。

第三者評価はあかつき授産所と瑞穂町福祉作業所さくらの2施設で実施した。評価機関から示された課題等を各委員会で検討し、利用者の支援向上につなげていけるよう対応策を話し合い実行に移した。

職員資質の向上を目的に全職員が自分の仕事に対する自己評価を行いリーダー職員との面談や仕事の振り返りを年2回実施、それをもとに各職員の評価や職群制度に反映された賃金体制等の人事考課制度を継続した。

プランナー会議、ケース会議、評価会議、リスクマネジメント委員会等の委員会活動により、支援マニュアル整備、個別支援計画研修、虐待防止についての検討、リスク対応等を実施し、利用者支援の向上を目的とした所内研修に力を入れた。

また研修報告にあるように東京都や東社協、地域自立支援協議会主催の職場外研修に積極的に参加した。主に障害者の権利擁護や虐待防止法関係、各障害特性に応じた支援スキルを学ぶ研修、相談支援等の研修に参加した。一般社団法人ゼンコロにおいても、就労移行支援や就労継続支援A型等の実地研修や担当者研修、海外研修等が行われ、当施設からも積極的に参加した。

一方、一般就職者数は、就労移行支援セルブあかつきで2名、就労継続支援B型あかつき授産所で2名、就労継続支援B型スペース・まどかで1名で、施設支援から計5名を出すことができた。

瑞穂町と指定管理契約で運営している就労継続支援B型瑞穂町福祉作業所さくらは5年の指定管理契約が26年度で終了だったが、新たに27年度から5年の指定管理契約を結び継続して運営できることとなった。

## ●就労支援事業活動

オイルエレメント組立やウエス事業、軽作業等の就労継続支

援B型の就労支援事業はそれぞれ収入が増え黒字で終えることができた。結果利用者の平均工賃も3つのB型施設において若干ではあるが上げることができた。就労継続支援B型施設では年々利用者数が増えており、就労支援事業収入が増えてもなかなか平均工賃が上がらない現状がある。また昨年4月に消費税率が8%に上がったこともなり費用面で重く影響した。

平均工賃は就労継続支援B型では、あかつき授産所二五五七六円、スペースまどか二〇七円(時間給)、瑞穂町福祉作業所さくら一五八三七円、就労継続支援A型あかつき作業所では一三六六八七円という結果だった。

## ●地域福祉

特定相談支援事業あかつきココロ二一相談支援センターは開設して2年が経過した。相談専門員3名(兼務)でスタートしたが、今年1月に一名退職し現在2名(兼務)となっている。主にサービス等利用計画の作成を行い、計画相談62件、継続支援35件を作成した。

武蔵村山市障害者就労支援センターとらいは3月末現在登録者が195名となり、就職者を28名出すことができた。新規登録者は38名増えており開設7年を過ぎたが地域に根差したセンターとして定着している。新たな職場開拓も9社と増え障害者の職場の拡充も進めた。

瑞穂町障害者就労支援センターは開設3年4カ月が経過し、3月末現在の登録者は昨年より10名増え89名となり今後も増加傾向がうかがえ、とらい同様地域に根差したセンターとして定着している。就職者数は11名出すことができた。

センター業務として就職者数を伸ばすのみではなく、登録者の生活支援や定着支援等も大きなウエイトを占めており、総合的な登録者支援の業務を果たしている。

前年度に引き続き、武蔵村山市障害程度区分審査会へ職員を派遣、武蔵村山市自立支援協議会とそれに付随するプロジェクト委員会や専門部会へ派遣等を行い地域福祉向上への取り組みに協力した。また市内福祉事業所と連携をとり、障害者の就労支援の向上を目指したネットワーク作りを推進した。

## 貸借対照表 平成27年3月31日現在

第3号の1様式  
(単位:円)

法人全体

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	115,839,614	159,173,360	43,333,746	流動負債	22,028,198	56,663,501	34,635,303
現金預金	71,179,852	80,263,936	9,084,084	事業未払金	14,332,027	14,741,032	409,005
事業未収金	22,001,618	19,561,483	2,440,135	その他の未払金	15,814,844	53,091,268	37,276,424
未収金	29,468,640	67,853,552	38,384,912	未払費用	3,086,110	2,062,893	1,023,217
未収補助金	252,000		252,000	預り金	132,205	297,045	164,840
受取手形	131,260	347,000	215,740	仮受金	3,138,348	29,799	3,108,549
商品・製品	1,606,800	1,651,520	44,720	その他の流動負債	14,475,336	13,558,536	916,800
原材料	1,698,701	1,920,630	221,929	固定負債	11,778,000	15,900,000	4,122,000
立替金	3,976,079	1,133,775	2,842,304	設備資金借入金	11,778,000	15,900,000	4,122,000
その他の流動資産	14,475,336	13,558,536	916,800	負債の部合計	33,806,198	72,563,501	△ 38,757,303
固定資産	280,511,662	296,315,295	15,803,633				
基本財産	225,784,636	232,185,495	6,400,859	純 資 産 の 部			
土地	92,920,862	92,920,862		基本金	156,178,608	156,178,608	
建物	132,563,774	138,964,633	6,400,859	基本金	156,178,608	156,178,608	
定期預金	300,000	300,000		国庫補助金等特別積立金	145,358,622	144,080,197	1,278,425
その他の固定資産	54,727,026	64,129,800	9,402,774	国庫補助金等特別積立金	145,358,622	144,080,197	1,278,425
構築物	135,000	270,000	135,000	その他の積立金	29,942,827	32,004,899	2,062,072
機械及び装置	16,298,457	22,541,037	6,242,580	その他の積立金	29,942,827	32,004,899	2,062,072
車輛運搬具	1,046,162	1,790,249	744,087	次期繰越活動増減差額	31,065,021	50,661,450	19,596,429
器具及び備品	7,426,866	7,645,901	219,035	次期繰越活動増減差額	31,065,021	50,661,450	19,596,429
権利	177,714	177,714		(うち当期活動増減差額)	21,658,501		21,658,501
その他の積立資産	29,642,827	31,704,899	2,062,072	純資産の部合計	362,545,078	382,925,154	△ 20,380,076
資産の部合計	396,351,276	455,488,655	△ 59,137,379	負債及び純資産の部合	396,351,276	455,488,655	△ 59,137,379

## 資金収支計算書

(自)平成26年4月1日(至)平成27年3月31日

第1号の1様式  
(単位:円)

法人全体

勘定科目		予算	決算	差異
事業活動による収支	収入			
	就労支援事業収入	151,450,000	136,539,358	14,910,642
	障害福祉サービス等事業収入	229,740,000	230,889,690	1,149,690
	生活保護事業収入	640,000	608,270	31,730
	借入金利息補助金収入	139,000	112,514	26,486
	経常経費寄附金収入	320,000	330,088	10,088
	受取利息配当金収入	8,000	23,402	15,402
	その他の収入	796,000	820,408	24,408
	事業活動収入計(1)	383,093,000	369,323,730	13,769,270
	支出			
	人件費支出	187,937,000	187,086,220	850,780
	事業費支出	18,895,000	15,198,934	3,696,066
	事務費支出	27,414,000	26,956,028	457,972
就労支援事業支出	151,450,000	143,723,118	7,726,882	
支払利息支出	157,000	122,030	34,970	
流動資産評価損等による資金減少額		1,097,320	1,097,320	
事業活動支出計(2)	385,853,000	374,183,650	11,669,350	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,760,000	4,859,920	2,099,920	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)			
	支出			
	設備資金借入金元金償還支出	4,122,000	4,122,000	
	固定資産取得支出	1,578,000	1,511,946	66,054
施設整備等支出計(5)	5,700,000	5,633,946	66,054	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	5,700,000	5,633,946	66,054	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	3,007,000	3,007,072	72
	拠点区分間繰入金収入	4,830,000		4,830,000
	その他の活動収入計(7)	7,837,000	3,007,072	4,829,928
	支出			
	積立資産支出	945,000	945,000	
	拠点区分間繰入金支出	4,830,000		4,830,000
その他の活動支出計(8)	5,775,000	945,000	4,830,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,062,000	2,062,072	72	
予備費支出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	6,398,000	8,431,794	2,033,794	

前期末支払資金残高(12)		83,836,602	83,836,602
当期末支払資金残高(11)+(12)	6,398,000	75,404,808	81,802,808

## 事業活動計算書

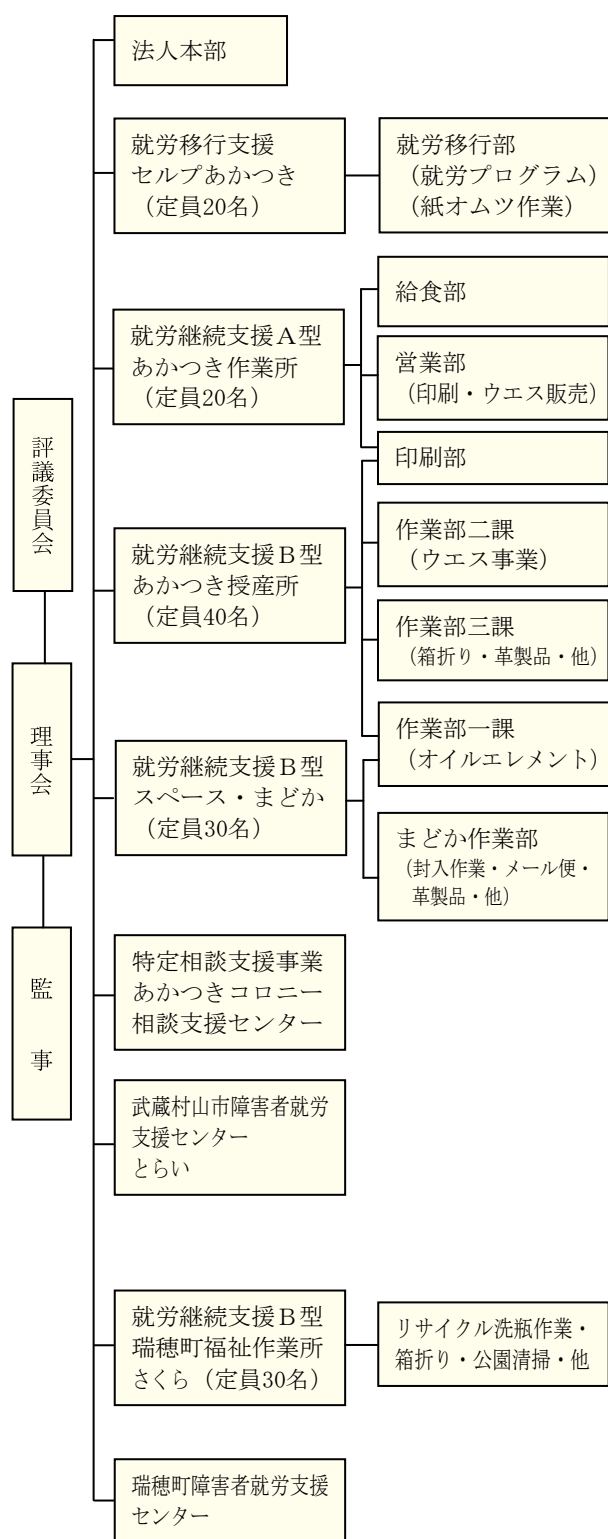
(自)平成26年4月1日(至)平成27年3月31日

第2号の1様式  
(単位:円)

法人全体

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	136,539,358		136,539,358
		障害福祉サービス等事業収益	230,889,690		230,889,690
		生活保護事業収益	608,270		608,270
		経常経費寄附金収益	330,088		330,088
		サービス活動収益計(1)	368,367,406		368,367,406
	費用	人件費	187,086,220		187,086,220
		事業費	15,198,934		15,198,934
		事務費	26,956,028		26,956,028
		就労支援事業費用	146,904,234		146,904,234
		減価償却費	12,270,276		12,270,276
		国庫補助金等特別積立金取崩額	1,278,425		1,278,425
		徴収不能額	1,097,320		1,097,320
		サービス活動費用計(2)	390,791,437		390,791,437
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	22,424,031		22,424,031	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	112,514		112,514
		受取利息配当金収益	23,402		23,402
		その他のサービス活動外収益	820,408		820,408
		サービス活動外収益計(4)	956,324		956,324
	費用	支払利息	122,030		122,030
			サービス活動外費用計(5)	122,030	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	834,294		834,294	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	21,589,737		21,589,737	
特別増減の部	収益	特別収益計(8)			
		固定資産売却損・処分損	68,764		68,764
	費用	特別費用計(9)	68,764		68,764
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	68,764		68,764
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	21,658,501		21,658,501	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	50,661,450	50,661,450	
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	29,002,949	50,661,450	21,658,501
		基本金取崩額(14)			
		その他の積立金取崩額(15)	3,007,072		3,007,072
		その他の積立金積立額(16)	945,000		945,000
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)-(14)+(15)-(16)	31,065,021	50,661,450	19,596,429

## あかつきコロニー組織図



## 財産目録 平成27年3月31日現在

(単位：円)

資産・負債の内訳	金額
<b>資産の部</b>	
1. 流動資産	
現金預金	71,179,852
事業未収金	22,001,618
未収金	29,468,640
未収補助金	252,000
受取手形	131,260
商品・製品	1,606,800
原材料	1,698,701
立替金	3,976,079
その他の流動資産	14,475,336
流動資産合計	115,839,614
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
土地	92,920,862
建物	132,563,774
定期預金	300,000
基本財産合計	225,784,636
(2) その他の固定資産	
構築物	135,000
機械及び装置	16,298,457
車輛運搬具	1,046,162
器具及び備品	7,426,866
権利	177,714
その他の積立資産	29,642,827
その他の固定資産合計	54,727,026
固定資産合計	280,511,662
資産合計	396,351,276
<b>負債の部</b>	
1. 流動負債	
事業未払金	14,332,027
その他の未払金	15,814,844
未払費用	3,086,110
預り金	132,205
仮受金	3,138,348
その他の流動負債	14,475,336
流動負債合計	22,028,198
2. 固定負債	
設備資金借入金	11,778,000
固定負債合計	11,778,000
負債合計	33,806,198
差引純資産	362,545,078



# ワーカビリティアジア会議 参加報告

作業部二課 押川 遊

7月7日、バンコク国際空港から直接ホテルへ移動する予定でしたが、送迎バスはレデンブトリスト障害者財団へ到着。急遽、歓迎会を行う事にしたので是非参加して欲しいとの事。歓迎会では車椅子の方達がダンスを披露してくれ、夕食をご馳走になりました。夕食はビュッフェ形式の本格的なタイ料理で全てがとても辛く、タイの方に「辛いのですか?」と聞くと「辛いよ、暑いときには辛いものを食べてもっと暑くなるんだよ」との事でした。

7月8日、ワーカビリティアジア会議の初日ですが8時の受付開始時間が過ぎても設営が終わっておらず、30分程ロビーで待っていると「受付は出来ないが会場に入っても大丈夫です」との事。会議も9時開始の予定でしたが1時間遅れで始まりました。会議とはいつても各国の

現状や取り組みの発表が主に行われました。どの国においても一般就労を継続して行う事が課題となっている事。国の援助や政策に対してはあまり期待しておらず、一般企業が主導となつて取り組んでいる事が話されていきました。会議終了後、丁度タイ国王の娘が60歳を迎えたお祝いという事もありタイの方がスピーチを行い、伝統芸能や踊りを見ながらのパーティーがありました。ここではラオスでボランティアを行っている方と話をする機会がありラオスの就労支援の実情を聞くことが出来ました。

7月9日、会議2日目は各国の代表がディベートを行うとい



うものでしたが、午後は通訳が入らず全く理解できませんでした。

7月10日、スタディツアーがあり、タイ到着日に歓迎会を行つてくれたレデンブトリスト障害者財団という施設で見学を行いました。英語の授業見学では10名の身体障害者が授業を受けていました。授業は週6日8時間、1年間2学期制で修了まで2年間。教師は外国からのボランティアが行っており、この時はアメリカとフランスからのボランティアが授業を行っていました。任期は1学期分6ヶ月で1学期間・同教科は同じボランティアが教えており、教科書はその時々生徒が興味を持ってのもの・学びたい物によってテキストを選んでいくとの事。

この時はオックスフォード大学のテキストを使用して授業を行っていました。能力に応じたクラス分けも行っており、入学時のテストで5段階のクラスに分けられる。また、学期毎に定期試験・修了試験も行われているとの事。

コンピュータプログラミングの授業見学では就職率は100%との事。どうやったら100%の就職率を実現できるかの質問には「そんな事は考えたことがない。普通は職業訓練校を卒業したら就職する。」といったニュアンスの回答でしたが、質問の趣旨が今一通じていなかった様子で言葉の壁を感じました。

マタイエレクトロニクスセンターでは機械の修理を行っており、テレビの修理がメインの様子で、印象的だったのは両上肢欠損の方が多くの外国人に作業を見られ恥ずかしそうに両足で半田ごてを器用に扱っている姿が印象的でした。  
コールセンターでは車椅子利用の女性が働いていました。部

屋は3部屋あり、それぞれ別の一般企業が入っており、マニュアルによる対応もしくは担当に電話を繋ぐといった内容の仕事で、どのような内容の問い合わせがあったかをホワイトボードに記載してありました。

7月11日、帰宅の日ですが飛行機の時間までかなり時間が空いていることを知ったレデンブトリスト障害者財団の職員の方が特別に観光ツアーを組んでくれました。ツアーでは文化村?の様なところで象のショーや伝統的な踊りを観劇、象乗り場?では二人一組で象に乗りました。その後、水上マーケットでお土産を買い、空港に向かいました。今までのワーカビリティの会議でこんなに遊んだのは初めてだとの事でした。



## プランナー会議報告

あかつき授産所副所長

赤星 洋子

職員のスキル向上を目的として発足したプランナー会議も、早一年が経過いたしました。勉強的側面と施設運営への直接提案も可能としているプランナー会議では、毎回検討事項を持ちより活発な意見交換を行ってまいりました。

そしてまとめられた議案は、タイムラグ無しに幹部会議に提案させていただきました。時には直接幹部会議に赴き、プレゼンテーションを行いながら提案させていただきましたこともあり、職員の生の声を届けることが出来ました。

ここではそのような一年間の活動や承認事項についてご報告させていただきます。

まず勉強会的側面では、利用者支援マニュアル「サポートハンドブック」の作成

高橋常務理事を囲んでのグループワーク(2回)

- ・ 1回目「法人の方向性と自分たちに求められるもの」
- ・ 2回目「放課後等児童デイの進捗状況、新規事業と職員配置など」

訓練等給付費のしくみ

- ・ メンバーの中から講師役を決め「瑞穂町福祉作業所さくら」を例として、基礎単位、体制加算、実績加算の構造から算定の仕方を学びました。

ゼンコー「第3回就労移行支援研修会 in 山形」報告

- ・ 研修会での資料を用いて、山形コローニーの状況と感想、そして質疑応答を行いました。

ジョブコーチ研修と質疑応答(第1回)

- ・ ジョブコーチ資格取得者を講師に勉強会をおこないました。

ジョブコーチ研修における事例検討(第2回)

- ・ 次に承認事項についてご報告いたします。

部署内研修

- ・ 個々の資質アップ及び利用者支援のスキルアップを目的と

した他部署への実習ができるようになりまし。申請書を各現場に配布してありますので、実習目的等必要事項を記入し、直属の上司に提出してください。大いに切磋琢磨していきたいものです。

他施設見学

近隣施設とのネットワークの強化を目的としています。

武蔵村山市の就労ネットワークに参加している職員が窓口となり、他施設職員と見学などの企画検討を行います。その後、法人へ情報提供させていただきますので希望者は担当職員までご連絡ください。

これまで行われた見学

- ・ 当法人へ見学依頼あり
- ・ 「共同作業所かたくり」より2名来所
- ・ 「共同作業所かたくり」見学

押川、戸村2名参加

「のぞみ福祉園」見学

西出、田中、増淵3名参加

「ひなた和楽館」見学

戸村、茂木、高橋3名参加

「共同作業所かたくり」について、作業部二課のウエス

材料のやりとり等、既に協力

体制で動いています。

旅行アンケート

- ・ 車椅子の方の参加減少と年齢層の広がりもある現状を考えると、行きたい場所に行けない方もいるのではないかと、いうことでアンケート調査を行わせていただきました。早速集計結果を秋の旅行に反映させていただきますと思っています。

利用者の肥満問題についての対策

- ・ 食事に關して支援が必要な方のみの給食検討会議を行い、対応策を検討するとともに情報共有をいたしました。

人事考課の点数について

希望者のみ平均点と本人の点数を伝えることはできるとのことでした。

会議時間のあり方

- ・ 委員会の再編成と合わせて、職員のメンタルヘルス・会議

「のぞみ意識・残業代の削減・仕事の効率化などを考慮した、会議開始時間の見直しを提案させていただきます。

あかつきコローニー建物開閉について

特定の職員に負担がないよう

に管理職の方で対応することとなりました。

職員集会(年2回)

- ・ 上半期決算後と下半期決算後という形で承認されました。

以上報告させていただきました。

「自分はこう思っているが」と

か「このようなのは出来るのか…」などご意見がありましたら、是非近くにいるメンバーに伝えてください。

今後も職員の生の声を届ける場として積極的に声を発していきたいと思えます。



## 新人紹介

みなさんよろしくお願いま〜す！！



4月から入所することになりました。趣味は音楽鑑賞(HKT48、Hilcrhyme、等)漢字(現在準2級)、野球観戦、で巨人とソフトバンクのファンです。  
잘부탁드리겠습니다(何卒宜しくお願い致します)

セルブ

なみき 翼さん



4月1日より オイルエレメントに入りました。頑張ります。宜しくお願い致します。

作業部一課

井上 昭一さん



三月よりとらいでお世話になっております。まったく違う業界からの転職で、毎日が勉強の日々です。就労を希望する方たちのお役にたてるよう頑張ってます。

とらい

大野 浩二さん



皆さん丁寧にわかりやすく作業を教えて下さるので、助かります。どうぞよろしくお願い致します。

作業部二課

福井美津子さん



2月より作業部2課にお世話になっております。皆様のお役に立てるよう、努力してまいります。よろしくお願い致します。

作業部二課

増淵 明美さん



5月25日より作業部2課でお世話になっております、白野さつきです。週に3日間の午前中月曜日水曜日金曜日の出勤ですがよろしくお願致します。

作業部二課

白野さつきさん



ことしの5月より仕事をしています。出身は東京、杉並です。たまこヒルズに入所しています。どうぞ、よろしくお願致します。

清掃員

上田麻里子さん



今までは老人福祉や接客業に携って来ました。障害者福祉は初めてなので刺激を受けながら勉強の日々です。笑顔を忘れずに頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

スペース・まどか

加藤希美子さん



5月よりお世話になっている松木千香です。好きなことは、釣りやツーリング、読書などです。みなさん、よろしくお願い致します。

営業事務

松木 千香さん



4月30日にはいりました。しゅみはあみものです。日よびにおかあさんと、かいいものにいきます。よろしくおねがいます。

セルブ

杉本 敬子さん



仕事を一生懸命、がんばります。よろしくおねがいます。

さくら

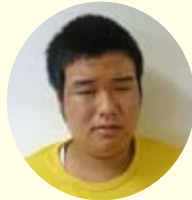
森田 智美さん



みんなと仲良くおしごとをがんばりたいです。よろしくおねがいます。

さくら

栗原 美穂さん



さくらでがんばります。よろしくおねがいます。

さくら

城戸口智也さん



お仕事がんばります。みんなと仲良くします。よろしくおねがいます。

さくら

保科 玲志さん



4月から「さくら」に入職しました。1日1日を大切にしながら皆さんと共に成長していきたいと思えます。よろしくお願い致します。

さくら

伊東 美里さん

主な事柄

出張・研修

(遠藤・増淵)

5月

入所・退所

1月  
7 新年会

1月  
6 市長挨拶

3月  
3 感染症講習会(遠藤)

5月  
8 W I J 理事会(高橋)

入所

16 オジャガデザインワーク  
シヨップ

7 サビ管責任者研修(戸村)

4 ゼンコ口理事会・総会  
(高橋 5日迄)

15 B型アセス検討会(西出)

2月  
増淵明美(作業二課)

22 床清掃

9 業務連絡会(遠藤・富田)

5 災害活動相互応援協定施設連絡会(遠藤)

25 社会支援雇用意見交換会  
(遠藤・戸村)

2月

16 エレベータ点検

15 安全運転管理者(高橋)

5 就労ネット(西出・利根川)

26 相談支援部会(小室・神山)

3月

23 火災避難訓練

16 (株)マレフィルタースイス

13 業務連絡会(遠藤)

30 地域福祉計画(高橋)

4月

12 消防設備点検(界面)

17 東京障害者職業センター

16 業務説明会(西出)

2 じゅさんれん(遠藤)

6月

19 オジャガデザインワーク  
シヨップ

27 相談支援部会(小室・神山)

24 相談支援部会(小室・神山)

4 丸山本出版記念(高橋・熊谷・遠藤・大滝・戸村)

3月

21 のぞみ祭り参加

29 自立支援協議会(高橋)

1 (株)マレフィルタースイス

10 東社協總會(高橋)

5月

26 理事会・評議員会

4 地域福祉計画(高橋)

8 ゼンコ口新規事業ワーキング(山本 9日迄)

16 羽村特別支援学校運営連絡協議会(熊谷)

5月

20 地震避難訓練

5 ゼンコ口運営委員会

9 ゼンコ口運営委員会

22 自立支援協議会(高橋)

退所

5月  
16 春季レク(サイボク)

7 ジョブコーチ研修  
(西出12日迄)

10 業務連絡会(遠藤)

25 地域福祉計画(高橋)

1月

27 エレベータ点検

13 業務連絡会(遠藤)

18 福岡コロニー落成式

12 業務連絡会(遠藤)

3月

30 都スポーツ大会(西出・渡辺・利用者5名)

17 羽村特支学校運営連絡協議会(熊谷)

20 就労ネット(西出・利根川)

30 就労ネット(西出・利根川)

5月

6月  
16 全体報告集会

19 就労プロジェクト

23 就労プロジェクト

30 地域福祉計画(高橋)

6月

19 職員集会

24 就労ネット(西出・利根川)

30 地域福祉計画(高橋)

4月22日、(株)森昭様より  
革のご寄贈を頂きました  
謹んで御礼申し上げます。

6月

30 火災避難訓練

26 防火・防災講習

30 地域福祉計画(高橋)

6月

寄贈

6月

16 全体報告集会

19 職員集会

30 地域福祉計画(高橋)

6月

30 火災避難訓練

26 防火・防災講習

30 地域福祉計画(高橋)

6月

福永朋代(さくら)

小山信治(プラザ)

江口智子(清掃員)

桜井初美(プラザ)